01 大谷翔平選手･総合教育機関ＥＣＣの共同留学プロジェクト

２度の落選を経て、夢のアメリカ留学へ

森中学校３年生の久保田乃愛（のあ）さんが、ドジャース・大谷翔平選手と総合教育機関ＥＣＣの共同留学プロジェクトにより、８月17日から一週間のアメリカ留学を実現しました。久保田さんは現地での生活を振り返り、自分の気持ちを言葉にする難しさを感じたとしながらも、「通っている教室の先生や家族が『やってみよう』と声をかけてくれ、挑戦の源になってくれた」と笑顔で話しました。



証明書と帽子を手にする久保田さん

02 第７回森ロータリークラブ杯U-12サッカー大会

元気いっぱい！ピッチで熱戦

森ロータリークラブ主催の第７回森ロータリークラブ杯U-12サッカー大会が９月20日、サンビレッジ森芝グラウンドで開催され、渡島管内の４チームが熱戦を繰り広げました。開会式では、同クラブの長瀬敏文会長が「頑張ってください。期待しています」と選手たちを激励。子どもたちは練習の成果を発揮し、元気いっぱいにボールを追いかけました。大会では、鷲ノ木サッカー少年団の中田海翔（かいと）くんが敢闘賞を受賞しました。


ゴール前でシュートを放つ秋田雄希（ゆうき）くん(小５)／左

03 第47回渡島管内スポーツ少年団剣道交流大会

気迫の一本！全道大会へ

渡島管内スポーツ少年団協議会が主催する第47回渡島管内スポーツ少年団剣道交流大会が９月20日、町民体育館で開催され３団体58名が稽古で培った技術を競いました。張り詰めた空気の中 仲間や保護者の声援に応えるように竹刀を振るい、互いの健闘を称えあう姿が見受けられました。森剣道スポーツ少年団からは小学生団体混合５名、中学生男子個人１名、中学生女子２名が12月に開催される全道大会に出場します。



小学生団体混合の部で先鋒を務めた佐藤日々人（ひびと）くん(小４)／左

04 サイエンスカフェもり

つくって、触れて、科学の不思議に大興奮！

９月24日、町と福島大学および北海道大学との連携事業によるサイエンスカフェが森小学校で開催され、５・６年生の児童が参加しました。当日は、大学生から「つかめる水」や、空気の力を利用して飛ぶ「マグヌス効果の紙飛行機」の作り方を教わりながら制作に挑戦。参加した松川心愛（みあ）さん（森小・６年）は「普段はできない体験で楽しかった」と話し、科学を身近に感じる一日となりました。


大きくできた「つかめる水」に笑顔がこぼれる

05 秋の全国交通安全運動「旗の波街頭啓発活動」

沿道から安全願う元気な声と黄色い旗

秋の全国交通安全運動に合わせ、９月28日に道の駅YOU・遊・もり前で「旗の波運動」が実施され、森町交通安全母の会（斉藤優香会長）をはじめ、森警察署や関係団体、森小学校２年生の児童が参加し、総勢約90人が啓発活動に集結しました。国道５号沿いに並んだ子どもたちは、ドライバーに向けて一生懸命旗を振り、「シートベルトつけてね！」などと呼びかけ、地域一丸となって交通安全を願いました。



笑顔で交通安全を呼びかける森小学校の児童たち

06 「私の地元応援募金」目録贈呈式

あたたかな支援で地域社会づくりに貢献

９月29日、明治安田生命保険相互会社が地元の元気プロジェクトの一環として取り組む「私の地元応援募金」により、現金515,000円と同社が発案した電話音声を聞き取りやすくするための機器「サウンドアーチ」１台が町へ寄附されました。同社函館支社八雲営業所原田史生所長から目録を受け取った岡嶋町長は「福祉や子どもたちの教育など町づくりに活用させていただく」と感謝を述べました。

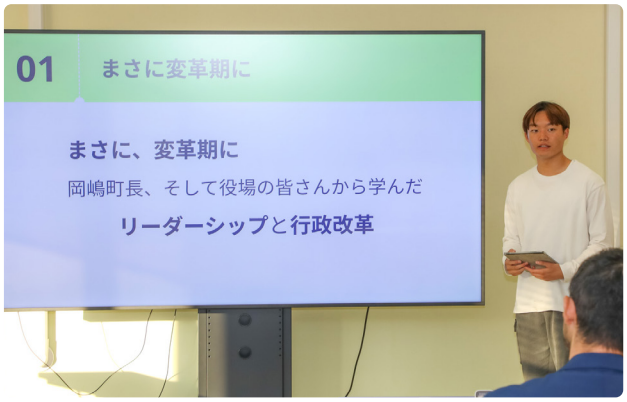


記念撮影におさまる原田所長／左

07 東京大学体験活動プログラム「町長の秘書業務体験！」

東大生が見つめた森町の今と未来

東京大学の学生２人が９月下旬の５日間、岡嶋町長の公務に同行し、秘書業務を体験しました。各課の行政改革に関するヒアリングや地域行事に参加し、９月30日の報告会では、人口減少や財政制約などの課題を踏まえ、効率化と既存資源の有効活用を進める町の取り組みを紹介。また、改革には職員との情報共有や相互理解が欠かせないと感じたことや、今回の経験を今後の政策立案に生かしたいとの思いが語られました。



秘書業務体験の成果を発表する山岸侑生（ゆうき）さん

08 港の直売所　秋味まつり

森町の秋を焼きたてで味わう

秋の味覚を楽しむ「秋味まつり」が北の森町噴火湾直売所を会場に10月３日・４日の２日間開催されました。地元食材にこだわったフードマルシェのほか、数量限定の目玉メニューとして蟹の出汁が香る味噌汁やさんまの炭火焼き、ホタテのバター醤油焼きが振舞われ、森町の美味しいものを求めて来場者が列をつくる場面も。食を通じて季節の移り変わりを感じるひとときとなりました。



秋の訪れを感じさせる立ち上る煙と香ばしい匂い

09 第26回オニウシ杯小学生バレーボール大会

勝負はわずか１点差、熱戦を展開

第26回オニウシ杯小学生バレーボール大会が10月3日に開催され、渡島・檜山から全24チームが参加しました。森・尾白内（高学年）チームは函館亀田スピリッツを相手に一進一退の攻防を繰り広げ、小林つむぎさん（森小・６年）が力強いアタックを決めるなど着実に得点を重ねました。試合結果は20-21と惜しくも勝利には届きませんでしたが、最後まで息の合ったプレーで健闘しました。



仲間とつないだ１点に、笑顔のハイタッチ

10 森ライオンズカップ 第22回近隣町スポーツ少年団フットサル大会

ゴールを目指して全力プレー！

渡島・檜山管内から８チームが出場し、10月12日、森町民体育館で熱戦が繰り広げられました。試合に先立ち、鷲ノ木サッカー少年団の井岸泉心（いずみ）さんと平井光真（みつまさ）さんが元気よく選手宣誓を行い、大会が開幕しました。各チームが日頃の練習の成果を発揮し、白熱した試合を展開。鷲ノ木サッカー少年団は惜しくも予選リーグ敗退となりましたが、選手たちは最後まで諦めず、懸命にボールを追いかけました。



ゴールを目指す選手に真剣なまなざしを注ぐチームメイト

11 森町国際交流事業「LINK TAIWAN（リンク タイワン）」

国際交流で大きな学び、次代を担う中学生

10月13日、森町国際交流事業「LINK TAIWAN」の事業報告会が森町役場で開かれ、台湾・彰化（しょうか）市を訪問した町の中学生による成果発表が行われました。

現地の中学生との交流や文化の違いに触れた生徒たちは「言葉だけがコミュニケーションではなく、人のつながりについて考えるようになった」「森町の豊かさに気づいた」と振り返り、ふるさとの魅力を再認識するとともに一回り成長した姿を見せました。



主催した森青年会議所メンバーと記念撮影をする参加者

12 森町シルバー人材センター「シルバーの日」

地域を支えるシルバーの輪

森町シルバー人材センターでは「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせて、10月16日に青葉ヶ丘公園の清掃ボラインティア及び普及啓発活動を行いました。清掃に参加した佐藤次美さんはランニング等で公園を利用していたといい、「みんなが楽しく使える公園になるように」と気持ちを込めて活動に取り組んでいました。森町シルバー人材センターへの入会希望は☎２－０４２３まで。



落ち葉集めに精を出す会員たち